取扱説明書

BCR32
CONTROLLER/ZAQUENCER

BCR32

ポリフォニック対応の 32 ステップ /4 トラック「Zaquencer」を内蔵した
32 個エンコーダーの USB/MIDI コントローラー / シーケンサー

behringer

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

安全上のご注意　必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

・異常がある場合はただちに使用を中止する：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。

・濡らさない：感電、火災、故障の原因になります。

・内部に異物を入れない：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。

・分解／改造はしない：感電、火災、故障の原因になります。

⚠注意

・高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

・乳幼児の手の届く所に置かない：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

・強い圧力を加えたり折損させたりしない：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。

・ぬれた手で使用しない：感電、火災、故障の原因になります。

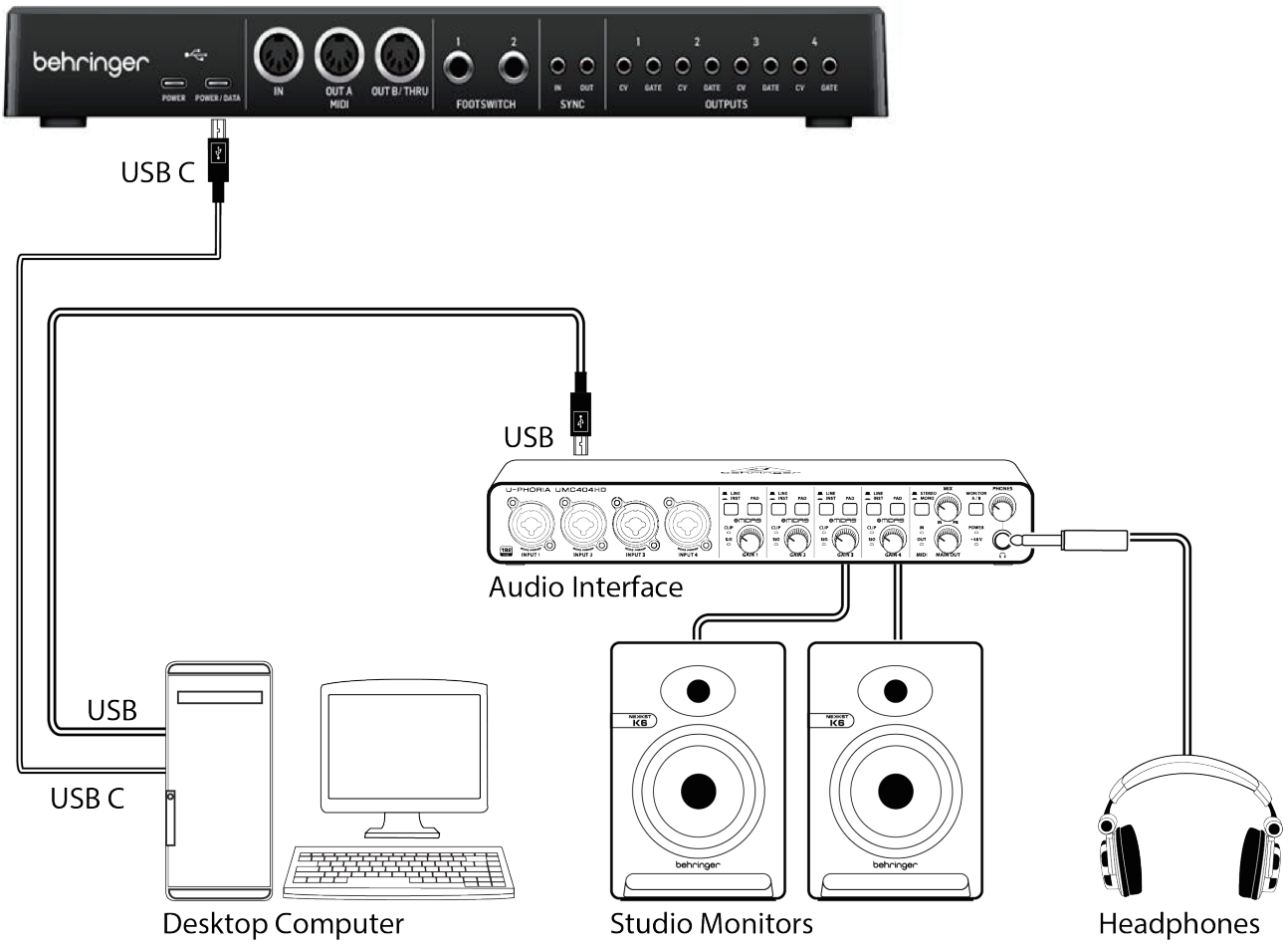
・対応した電源アダプター以外を使用しない：指定された容量の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された容量のアダプターのみをご利用ください。

※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

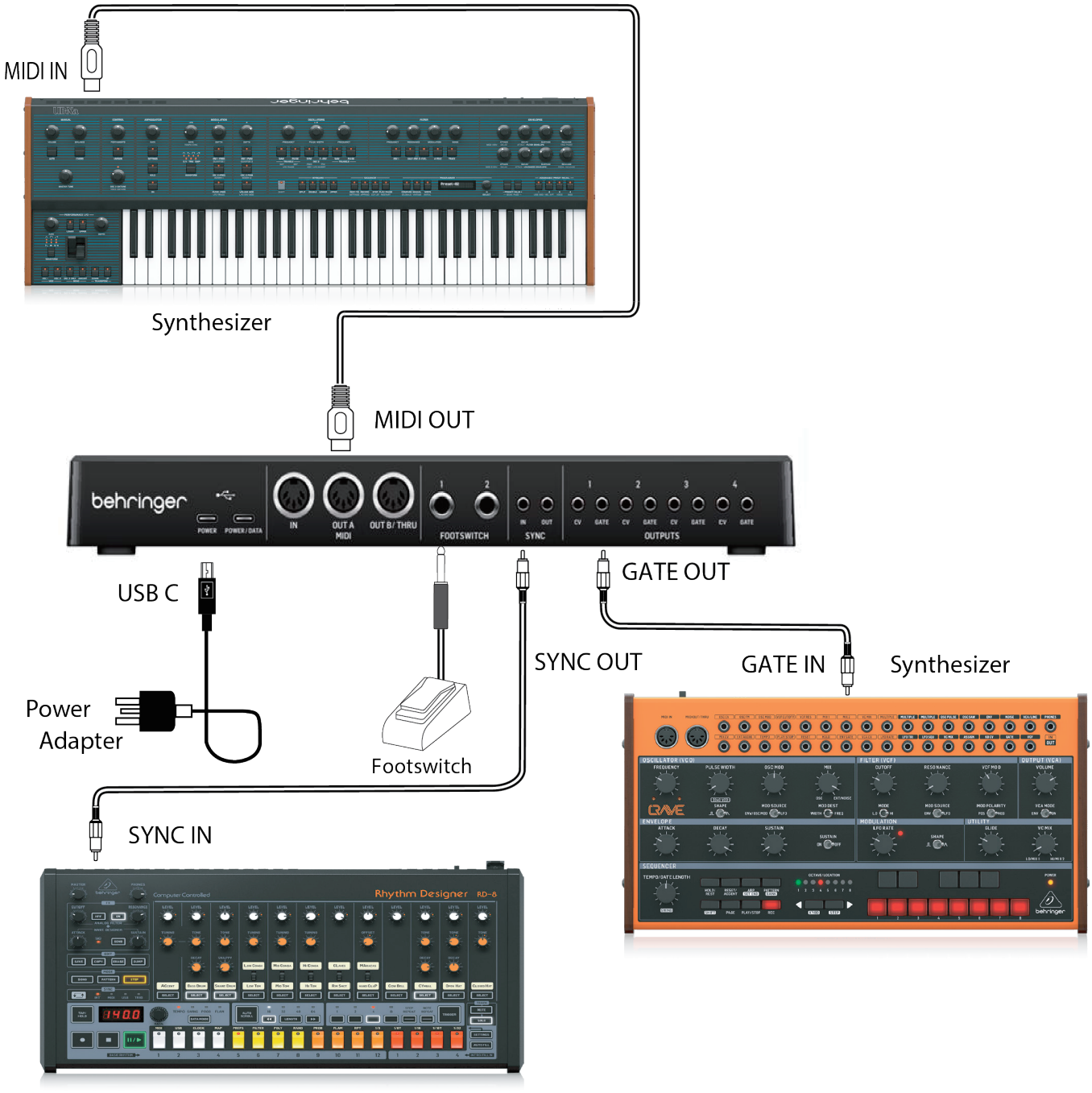
1. フックアップ

スタジオセットアップ



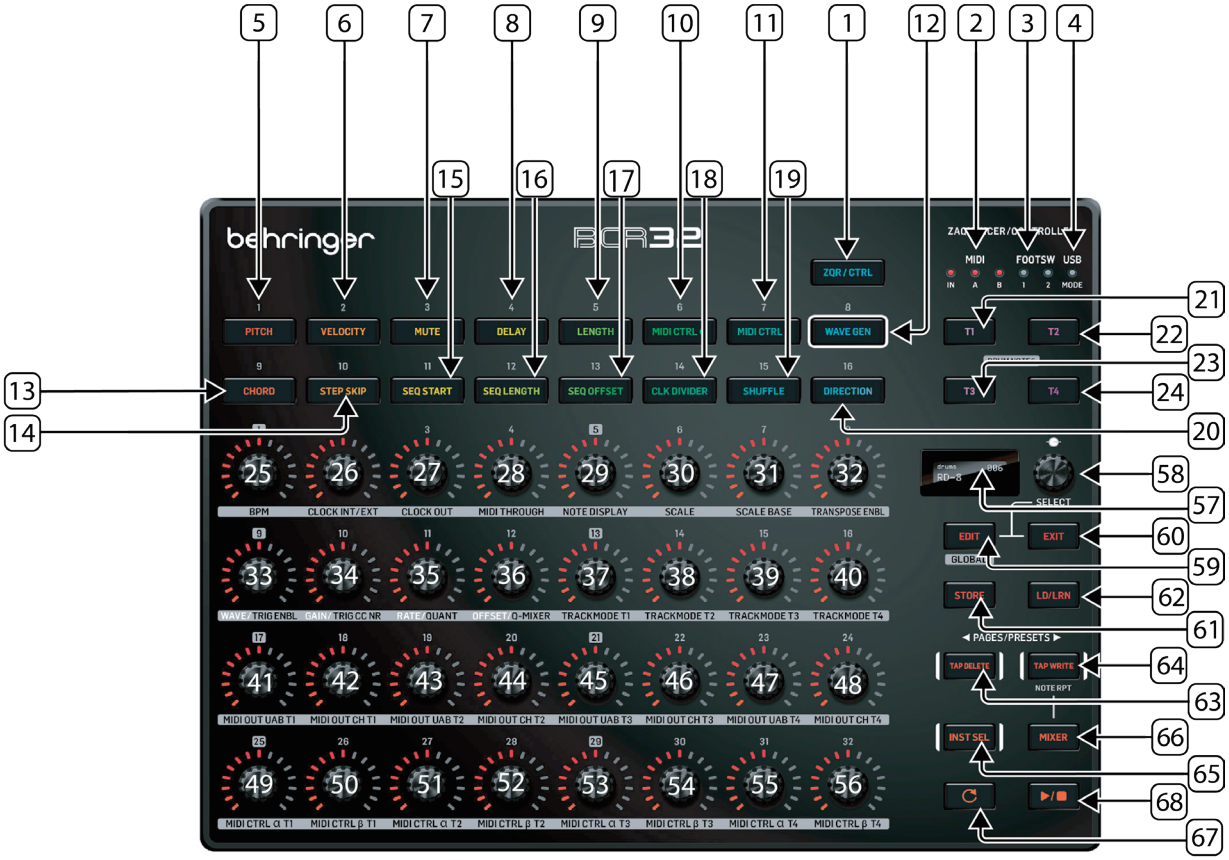
©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

バンド / 練習システム



©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

2. コントロール



1. トップパネル

固定機能コントロール

(1) ZAQ/CTRL ボタン：CONTROLLER モード (アンバー点灯) と ZAQUENCER モード (ピンク点灯) を切り替えます。また、SETTINGS メニュー (青点灯) を開く際にも使用します。

(2) MIDI：MIDI IN 端子および MIDI OUT 端子での信号の入出力状況を示します。

(3) FOOTSW：フットスイッチを操作すると、一瞬点滅します。

(4) USB MODE：USB 端子での信号の送受信状況を示します。

(25)~(56) ロータリーエンコーダー：ボタン (1)、(5)~(20)、(59) で選択したパラメーターを調整します。

(57) ディスプレイ：現在編集中のパラメーターに関する情報を表示します。

(58) SELECT エンコーダー：指示のある場面で、パラメーターや設定値の調整に使用します。エンコーダーはプッシュボタンを兼ねており、必要に応じて ENTER(決定) ボタンとして使用できます。

グローバル設定

CTRL/ZAQ ボタン (1) を 3 秒間長押しします。このボタンとボタン (5)~(12) が青く点灯し、BCR 32 のグローバル設定にアクセスできるようになります。

(5) DEVICE MODE：BCR 32 の電源投入時に起動するモードを選択します。SELECT エンコーダー (58) を回して ZQR と CTRL を切り替え、エンコーダーをもう一度押すと設定が保存されます。

(6) DEVICE ID：複数台の BCR 32 を接続して使用する場合は、それぞれに固有の ID を設定する必要があります。SELECT エンコーダー (58) を回して任意の ID(1~255) を選び、エンコーダーをもう一度押すと設定が保存されます。

(7) OPERATION MODE：BCR 32 には、次の 3 つの動作モードがあります。

・USB：DIN MIDI および内部クロックは無効になります。USB 機能とアナログシンクは使用できます。

・STDL：DIN MIDI 機能、MIDI シンク、内部クロックが使用できます。USB 機能とアナログシンクは無効になります。

・MIXED：すべての機能が使用できます。

SELECT エンコーダー (58) を回してモードを選び、もう一度押すと設定が保存されます。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

(8) CV1 MEASURE：CV キャリブレーション (校正) の手順を開始します (後述の「キャリブレーション」を参照)。

(9) FOOTSWITCH 1：フットスイッチ 1 の動作を設定します。
- ZAQ：シーケンサーのスタート / ストップ
- CTRL：任意の動作を設定可能

(10) FOOTSWITCH 2：フットスイッチ 2 の動作を設定します。
- ZAQ：次のパターンへ移動
- CTRL：任意の動作を設定可能

(11) FIRMWARE VERSION：ボタン (11) を押すと、現在のファームウェアバージョンが表示されます。この項目に設定できる値はありません。

(12) FACTORY RESTORE：BCR 32 を工場出荷時の設定に戻します。SELECT エンコーダー (58) を回すと、Cancel(初期値) と OK が切り替わります。ディスプレイに OK が表示された状態でエンコーダーを押すと、リセットが実行されます。リセットには通常 1 分以上かかります。完了すると、グローバル設定メニューに戻ります。

SETTINGS メニューを終了するには、CTRL/ZAQ ボタンをもう一度押します。BCR 32 が通常の動作状態に戻ります。

このメインの設定メニューのほかに、Zaquencer モードと Controller モードそれぞれに専用の設定メニューが用意されています。

ZAQUENCER 設定

ZAQ モードで GLOBAL/EDIT ボタン (59) を押したまま、STORE ボタン (61) を押します。ボタン (5)~(8) が青く点灯します。

(5) GATE OUT：ゲート設定を開きます。SELECT エンコーダー (58) で、5V ゲートまたは 10V ゲートを選択します。

(6) SYNC IN CLOCK：Sync In 設定を開きます。SELECT エンコーダー (58) で、1ppqn、2ppqn、4ppqn、24ppqn、48ppqn から選択し、エンコーダーを押して確定します。

(7) SYNC OUT CLOCK：Sync Out 設定を開きます。SELECT エンコーダー (58) で、1ppqn、2ppqn、4ppqn、24ppqn、48ppqn から選択し、エンコーダーを押して確定します。

(8) SYNC IN START：スタートの設定を開きます。SELECT エンコーダー (58) で次のいずれかを選択します。
- GATE：SYNC IN 端子 (76) に接続した TRS ケーブルのリングに入力されるトリガーでスタートします。
- CLOCK：SYNC IN ケーブルのチップにクロックが入力されるとスタートします。

EXIT(60) を押すと、メニューを抜けて ZAQ GLOBAL メニューに移り、Zaquencer の機能に戻ります。

CONTROLLER 設定

CTRL モードで EDIT ボタン (59) を押したまま、STORE ボタン (61) を押します。ボタン (5) と (6) が青く点灯します。

(5) OUTPUT ROUTING：SELECT エンコーダー (58) で、コントローラーの出力先を選択します。選択肢 :USB、MIDI A、MIDI B、MIDI A & B、USB & MIDI A、USB & MIDI B、USB and MIDI A & MIDI B

(6) MIDI THROUGH：Source と Destination を切り替えます。ソースはエンコーダー (28) で、送信先は SELECT エンコーダー (58) で設定します。

ソース：Off、MIDI、USB

送信先：
- Off
- Filtered：MIDI A、MIDI B、MIDI A & B、USB、MIDI A & USB、MIDI B & USB、MIDI A, B & USB * このモードでは、受信した MIDI のうち、クロックなど本機内部で生成されるメッセージと重複するものが THRU から除外されます。
- MIDI A、MIDI B、MIDI A & B、USB、MIDI A & USB、MIDI B & USB、MIDI A, B & USB

SELECT エンコーダー (58) を押して設定を保存し、EXIT(60) でメニューを終了します。

◊ ソースに Off を選択した場合、送信先は Off のみとなります。すべての選択肢は、グローバル設定メニューのボタン (7)(Note Mute) で MIXED を選択した場合にのみ使用できます。

ZAQ モード

BCR 32 が ZAQ モードのときは、ボタン (1) と、ボタン (5)~(20) のうち使用中のボタンがピンクに点灯します。設定はすべてトラックごとに保存されるため、まずボタン (21)~(24) で目的のトラックを選択してください。すべての設定は、BCR 32 の再生中にリアルタイムで調整できます。EDIT/GLOBAL ボタン (59) を押しながらいずれかのエンコーダーを回すと、回した方向に応じて、全ステップの値が最大値または最小値に達するまで一括で調整されます。

(5) NOTE PITCH：ロータリーエンコーダー (25)~(56) をピッチモードにします。各エンコーダーで、対応するステップのピッチを設定できます。ディスプレイには、最後に編集したステッ

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

プと、割り当てたピッチが表示されます。エンコーダー周囲のLED もピッチを示し、その表示範囲はグローバル設定の Note Display 設定によって異なります。BCR 32 の再生中は、最後の 3 つの LED が現在のステップを示します。MIDI ノートの範囲は C2~G8、CV の範囲は 0V~+10V です。

(6) NOTE VELOCITY：ロータリーエンコーダー (25)~(56) をベロシティモードにします。ディスプレイには、現在のステップに設定したベロシティが表示されます。初期値は 100、範囲は 0~127 です。

(7) NOTE MUTE：ロータリーエンコーダー (25)~(56) をミュートモードにします。エンコーダーで再生とミュートを切り替えます。ステップが再生される場合はそのステップのノートの LED が点灯し、ミュートされている場合は消灯します。ディスプレイには現在のステップの状態が表示されます。

(8) NOTE DELAY：選択したノートのタイミングにディレイ (遅れ) を加えます。初期値は全ステップ 0 です。周囲の LED がディレイの設定を示します。中央ではディレイなしとなります。反時計回り (CCW) に回すとマイナスのディレイ (-1~-5) となり、ノートが拍より前にずれます。時計回り (CW) に回すとプラスのディレイ (1~5) となり、ノートが拍より後ろにずれます。

(9) NOTE LENGTH：エンコーダー (25)~(56) で、各ステップのノートの長さを設定します。選択肢は次のとおりです。

- 96：96 分音符
- t32：32 分音符の 3 連符
- 32：32 分音符 (初期値)
- t16：16 分音符の 3 連符
- 16：16 分音符
- t8：8 分音符の 3 連符
- 8：8 分音符
- t4：4 分音符の 3 連符
- 4：4 分音符
- t2：2 分音符の 3 連符
- 2：2 分音符
- t1b：1 拍の 3 連符
- 1b：1 拍
- t2b：2 拍の 3 連符
- 2b：2 拍
- 4b：4 拍

初期値は 32 分音符です。ディスプレイには現在のステップの設定が表示されます。

(10) MIDI CTRL α：コントロール (49)(トラック 1)、(51)(トラック 2)、(53)(トラック 3)、(55)(トラック 4) で選択したコントローラーについて、ロータリーエンコーダー (25)~(56) で各ステップの MIDI コントロール値を設定します。範囲は Off、1~127 です。ディスプレイには、調整中の MIDI CC が表示されます。

(11) MIDI CTRL β：コントロール (50)(トラック 1)、(52)(トラック 2)、(54)(トラック 3)、(56)(トラック 4) で選択したコントローラーについて、ロータリーエンコーダー (25)~(56) で各ステップの MIDI コントロール値を設定します。範囲は Off、1~127 です。ディスプレイには、調整中の MIDI CC が表示されます。

(12) WAVE GEN：WAVE GEN ボタンを押したままにすると、波形の設定を調整できます。次のエンコーダーで調整し、ディスプレイに現在の設定が表示されます。

- エンコーダー (33)(ステップ 9)：波形 — ランダム、サイン波、三角波、ノコギリ波、ランプ波、矩形波
- エンコーダー (34)(ステップ 10)：波形のゲイン 0~100(初期値 50)
- エンコーダー (35)(ステップ 11)：波形のレート 1~32(初期値 5)
- エンコーダー (36)(ステップ 12)：波形のオフセット 0~127、または add(既存の波形に新しい波形を加算)(初期値 63)

生成した波形は、WAVE GEN ボタンを押したまま目的のパラメーターのボタンを押すことで、Note Pitch、Note Velocity、Note Mute、Note Delay、Note Length、MIDI Control α、MIDI Control β に適用できます (複数選択可)。

(13) CHORD：使用中のステップに設定したノートを基に、ロータリーエンコーダー (25)~(56) から MIDI でコードを出力できるようにします。選択肢は次のとおりです。

- Off(初期値)
- マイナー
- メジャー
- ディミニッシュ
- オーギュメント
- ディミニッシュ 7th
- マイナー 7th(♭ 5th)
- マイナー 7th
- マイナー・メジャー 7th
- メジャー 7th(♭ 5th、6th、7th)
- メジャー 7th
- メジャー 7th(#5th)

上記のコードはすべて、ルート音のオクターブ下 (Octave -) およびオクターブ上 (Octave +) 付きでも選択できます。

インターバル :

- 短 2 度
- 長 2 度
- 短 3 度
- 長 3 度

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

・完全 4 度
・減 5 度
・完全 5 度
・短 6 度
・長 6 度
・短 7 度
・長 7 度

(14) STEP SKIP：ロータリーエンコーダー (25)~(56) をスキップモードにします。エンコーダーで再生とスキップを切り替えます。再生されるステップではそのステップのノートの LED が点灯し、スキップされるステップでは消灯します。ディスプレイには現在のステップの状態が表示されます。

(15) SEQ START：ロータリーエンコーダー (25)~(56) と組み合わせて、シーケンスの開始ステップを選択します。いずれかのエンコーダーをどちらかの方向に回すと、そのステップがシーケンスの開始点になります。初期値はステップ 1 です。

(16) SEQ LENGTH：ロータリーエンコーダー (25)~(56) と組み合わせて、シーケンスの長さを設定します。エンコーダー (25) で長さ 1、以降順に、エンコーダー (56) で長さ 32(初期値) になります。

(17) SEQ OFFSET：ロータリーエンコーダー (25)~(56) と組み合わせて、シーケンスをずらします (オフセット)。設定範囲は 0 ステップ (エンコーダー (25)、初期値)~31 ステップ (エンコーダー (56)) です。ディスプレイには現在の設定が表示されます。

(18) CLOCK DIVIDER：SELECT エンコーダー (58) と組み合わせて、クロックの分周を選択します。選択肢 :1、2、4、8、16(初期値)、32、24、12、6、3

(19) SHUFFLE：ロータリーエンコーダー (30) と (31) と組み合わせて、シャッフル量を設定します。エンコーダー (30) では E 0、E 16、E 33、E 50、E 66、E 83 を、エンコーダー (31) では 0 0、0 16、0 33、0 60、0 66、0 83 を選択します。ディスプレイには選択した値が表示されます。E は偶数ステップへのシャッフル、O は奇数ステップへのシャッフルを示します。

(20) DIRECTION：SELECT エンコーダー (58) で、シーケンスの再生方向を選択します。選択肢 :Forward(順方向、初期値)、Backward(逆方向)、Pip 0(最初と最後のステップを繰り返すペンデュラム)、Random(ランダム)、Pendulum(ペンデュラム)

◊ ボタン (5)~(20) の設定は、トラックごとに個別に適用されます。全体に共通の設定ではありません。

(21)~(24) TRACK SELECT：プログラムまたは編集するトラックを選択します。現在選択中のトラックのボタンは点滅します。ボタンが赤く点灯している場合、そのトラックはミキサーでミュートされています。緑に点灯している場合はアクティブ (ミュートされていない状態) です。プログラム / 編集のために一度に選択できるトラックは 1 つだけです。(21) はトラック 1、(22) はトラック 2、(23) はトラック 3、(24) はトラック 4 を選択します。

(59) GLOBAL：グローバル機能にアクセスします (後述の「ZAQ グローバル」を参照)。

(60) EXIT：STORE、LOAD、GLOBAL の各機能から抜けます。

(61) STORE：STORE ボタンを押したまま、ボタン (63) と (64) で保存先のページ (1~12) を、ボタン (5)~(20) で保存先のパターン位置を選択して、現在のパターンを保存します。緑に点灯しているボタンには、すでにパターンが保存されています。現在のパターンがすでに保存されている場合は、該当するボタンが点滅します。この時点では一時保存の状態のため、電源を切ると失われます。また、STORE ボタンは点灯したままになります。EXIT(60) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま再度 STORE を押すと本保存が完了し、ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。

(62) LOAD：LOAD ボタンを押し、ボタン (63) と (64) でページを、ボタン (5)~(20) で位置を選択して、読み込むパターンを選びます。パターンが保存されている位置は緑に点灯します。現在のパターンが保存位置から読み込まれたものである場合は、該当するボタンが点滅します。EXIT(60) を押すと完了します。

パターンボタンを押したまま別のパターンボタンを押すと、パターンチェーンが作成され、パターンが順番に繰り返し再生されます。

コピー先トラックのボタン ((21)~(24)) を押したまま、コピー元トラックのボタンを押すと、トラックの内容を別のトラックにコピーできます。あるトラックから別のトラックへパターンをコピーするには、コピー元トラックを選択する前に、パターンのボタンを押します。

BCR32 の再生中でも新しいパターンを読み込むことができ、現在のパターンが最後まで再生された時点で切り替わります。

◊ BCR32 は、電源投入時にパターンを自動的に読み込みません。

(63) TAP DELETE：リアルタイム・プログラミング中に、ノートやドラムを削除します。パターンの保存時には、保存ページを下方向に送ります。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

(64) TAP WRITE：リアルタイム・プログラミング中のモードを選択します。パターンの保存時には、保存ページを上方向に送ります。

(65) INST SEL：リアルタイム・プログラミングを有効にします。

(66) MIXER：ミキサーを有効にします。後述の「ZAQ ミキサー」を参照してください。

(67) RESET：再生中のシーケンスを最初のステップに戻します。

(68) PLAY/STOP：シーケンスの再生を開始 / 停止します。

プログラミングの前に ― ヒントとコツ

初期状態では、未プログラムのノート / コードトラックの全ステップが C3 に設定されています。トラックのプログラミングを始める前に、この初期ノートを使って楽器のチューニングを行ってください。アナログ楽器は、チューニングの前に十分にウォームアップさせてください。

Note Pitch ボタン (5) を押しながら任意のエンコーダーを回し、初期ピッチ (C3) を、これからプログラムするキーのルート音に置き換えます。

プログラミングの前に、Note Mute ボタン (7) で、選択したトラックのうち使用しないステップをミュートしておきます。

ステップ・プログラミング

ステップ入力でパターンをプログラムするには、まずボタン (21)~(24) でトラックを選択します。選択したトラックが Chord モードになっていることを確認してください (後述の「ZAQ グローバル」の (37)~(40) を参照)。各エンコーダー ((25)~(56)) はシーケンスの各ステップに対応しており、ステップ 1(エンコーダー (25)) からステップ 32(エンコーダー (56)) までとなります。各ステップのエンコーダーを回してノートを選択すると、その値がディスプレイに表示されます (全ステップの初期値は C3、MIDI ノート 60)。CHORD 機能を使うと、プログラムしたノートを、そのノートをルートとする指定のコードに変更できます。

リアルタイム・プログラミング

シーケンサーのトラックは、リアルタイムでプログラムすることもできます。INST SEL ボタン (65) を押して、プログラミングモードに入ります。ディスプレイには初期状態で NOTE と表示されます (再生ヘッドを走らせたり録音したりせずに、ノートを演奏できます)。TAP WRITE(64) を押すと、モードが MONITOR、RECORD、NOTE に切り替わります。

・MONITOR: 練習用のモードです。PLAY(68) でパターンを再生しながら、ボタン (6)、(7)、(9)~(11)、(13)~(20) に表示されるバーチャルキーボード、または外部 MIDI キーボードで演奏できます。録音は行われませんが、録音済みのステップは発音されます。

・RECORD: 再生ヘッドの走行中に押したボタンや受信した MIDI ノートが、最も近いステップに録音されます。

・NOTE: 再生ヘッドを走らせたり録音したりせずに、ノートを演奏できます。

ステップに録音したノートを消去するには、上記の手順で RECORD モードに入り、再生ヘッドの走行中に TAP DELETE ボタン (63) を押したまま、消去したいステップで目的のノートのボタンを押します。ノートのボタンをパターン 1 周分押し続けると、そのノートがすべて消去されます。

もう一度 INST SEL を押すと、録音を終了します。

ZAQ ドラムトラック

4 つのトラックは、いずれもドラムトラックとして設定できます。EDIT/GLOBAL ボタン (59) で GLOBAL モードに入り、エンコーダー (37)~(40) で目的のトラックを Drum に設定します。GLOBAL モードでトラックのボタン ((21)~(24)) を押し続けると、エンコーダー (25)~(40) で 16 種類のドラムボイスそれぞれのピッチを設定できます。設定値は、エンコーダー周囲の LED とディスプレイに表示されます。選択したノートは、トラックに割り当てられたチャンネルで、選択されている出力 (MIDI A、B、USB) からも送信されます。

ステップ書き込み

INST SEL(65) を押して録音モードに入り、目的のドラム (ディスプレイに表示) に対応するボタン (5)~(20) を押します。ドラムをトラックのステップに割り当てるには、鳴らしたいステップのエンコーダーを回します。不要なステップに配置してしまった場合は、そのエンコーダーをもう一度回すと削除できます。選択したドラムがプログラムされたエンコーダーの横では、そのドラムのノートに対応する LED が点灯します。

選択したドラムをシーケンスの全ステップに配置するには、そのドラムのボタンを押したまま、任意のエンコーダーを時計回りに回します。選択したドラムをすべて消去するには、そのボタンを押したまま、任意のエンコーダーを反時計回りに回します。

ランダムなパターンを生成するには、ボタン (5)~(20) でドラムを選択し、INST SEL(65) を押したまま、WAVE GEN(12) を押します。選択したドラムがランダムなステップに配置され、エンコーダー周囲の LED で示されます。各ステップは、そのエンコーダーを反時計回りに回すと解除できます。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

リアルタイム・プログラミング (ドラム)

ドラムトラックも、リアルタイムでプログラムできます。INST SEL ボタン (65) を押して、プログラミングモードに入ります。TAP WRITE ボタン (64) で、MONITOR と RECORD を切り替えます。

・MONITOR: 練習用のモードです。PLAY(68) でパターンを再生しながら、ボイスボタン、または外部 MIDI キーボードやドラムパッドで演奏できます。録音は行われませんが、録音済みのステップは発音されます。

・RECORD: パターンの再生中に押したボタンや受信した MIDI ノートが、最も近いステップに録音されます。

ステップに録音したドラムを消去するには、上記の手順で RECORD モードに入り、TAP DELETE ボタン (63) を押したまま、消去したいステップで目的のドラムのボタンを押します。ドラムのボタンをパターン 1 周分押し続けると、そのドラムがすべて消去されます。

ZAQ ミキサー

Zaquencer モードでシーケンサーが停止しているときに MIXER ボタン (66) を押すと、ミキサーの設定にアクセスできます。ミキサーでは、ボタン (21)~(24) で 4 つのトラックのミュートを、ボタン (5)~(20) で個々のドラム (ドラムトラック使用時) のミュートを設定します。ミュートされていないトラックやドラムのボタンは緑に、ミュートされているものは赤に点灯します。

ミキサーでは、ボタン (64) の Note Repeat 機能も使用できます。MIXER モードでこのボタンを押したまま任意のエンコーダーを回すと、リピートのレートを設定できます。
選択できるレート：96 分音符、32 分音符の 3 連符、32 分音符、16 分音符の 3 連符、16 分音符、8 分音符の 3 連符、8 分音符、4 分音符の 3 連符、4 分音符

Note Repeat(64) を押したまま、トラックのボタンを押すとそのトラックのすべてのノート (またはドラム) を、ドラムボイスのボタン (該当する場合) を押すとそのドラムのみをリピートします。

消去

Zaquencer のメモリーを消去するには、次の手順に従います。まず STORE ボタン (61) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま、25 番目のエンコーダー (50) を押します。グローバルパラメーターを工場出荷時の設定に戻すには、7 番目のエンコーダー (31) を押し、もう一度押して確定します。グローバルパラメーターを変更せずにシーケンスメモリーを消去するには、8 番目のエンコーダー (32) を押し、もう一度押して確定します。いずれの場合も、EXIT(60) を押すと通常の動作に戻ります。

ZAQ グローバル

Zaquencer モードで GLOBAL/EDIT ボタン (59) を押すと、ロータリーエンコーダー (25)~(56) でグローバルパラメーターを調整できます。< ボタン (63) を押しながらエンコーダーを回すと、値を変更せずに現在の設定をディスプレイで確認できます。

(25) BPM：内部クロック選択時の BCR32 のテンポを設定します。範囲は 30~300bpm です。

(26) CLOCK INT/EXT：クロックソースを選択します。選択肢 :Internal(内部)、MIDI、USB、Sync(アナログトリガー)
◊ SETTINGS メニューで選択した OPERATION MODE によっては、一部の選択肢が使用できない場合があります (下記参照)。

(27) CLOCK OUT：内部クロックソースを選択しているときに、クロックを送信する出力を選択します。

・Off(初期値)
・MIDI A
・MIDI B
・MIDI A & B
・USB
・MIDI A & USB
・MIDI B & USB
・MIDI A, B & USB

(28) MIDI THROUGH：MIDI Thru のソースを選択します。SELECT エンコーダー (58) を押すと Source から Destination に切り替わり、続けて SELECT エンコーダー (58) で送信先を選択できます。ディスプレイにはソースと送信先が表示されます。
ソース：Off、MIDI、USB
◊ Off を選択した場合、送信先は使用できません。
送信先：

・Off
・MIDI A、MIDI B、MIDI A & B、USB、MIDI A & USB、MIDI B & USB、MIDI A, B & USB ― Filtered(ディスプレイに F と表示): 本機内部で使用している MIDI は転送されません。
・MIDI A、MIDI B、MIDI A & B、USB、MIDI A & USB、MIDI B & USB、MIDI A, B & USB
◊ すべての選択肢は、グローバル設定メニューのボタン (7) (Note Mute) で MIXED を選択した場合にのみ使用できます。

(29) NOTE DISPLAY：NOTE PITCH モードでステップをプログラムする際の、ノート値の表示方法を選択します。

・OcMi：MIDI ノート値 (1~127) のみを表示します。エンコーダーの LED は 1 オクターブ分を表示します。
・OCNa：オクターブ (-2~+8) と音名 (C~B) を表示します。エンコーダーの LED は 1 オクターブ分を表示します。
・AlMi：MIDI ノート値 (1~127) のみを表示します。エンコーダーの LED はノートの範囲全体を表示します。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

・AlNa：オクターブ (-2~+8) と音名 (C~B) を表示します。エンコーダーの LED はノートの範囲全体を表示します。

(30) SCALE：BCR32 を動作させるスケールを選択します。
- ・USER(ユーザー)
- ・OFF(初期値)
- ・Major(メジャー)
- ・Minor(マイナー)
- ・Dorian(ドリアン)
- ・Phrygian(フリジアン)
- ・Lydian(リディアン)
- ・Mixolydian(ミクソリディアン)
- ・Locrian(ロクリアン)
- ・Whole Tone(ホールトーン)
- ・Minor 7th(マイナー 7th)
- ・Diminished 7th(ディミニッシュ 7th)
- ・Octatonic W H(オクタトニック 全音 - 半音)
- ・Octatonic H W(オクタトニック 半音 - 全音)
- ・Major Pentatonic(メジャー・ペンタトニック)
- ・Minor Pentatonic(マイナー・ペンタトニック)
- ・Inverted(インバーテッド)

(31) SCALE BASE：選択したスケールの基音 (C~B) を設定します。

◊ SCALE と SCALE BASE は、通常、プログラムしたノート自体は変更しません (非破壊)。プログラムしたノートを、選択したスケールと基音に合わせて一時的に補正するだけです。そのため、選択したスケールが好みに合わない場合でも、プログラムし直すことなく別のスケールを選択できます。使用中のパターンにスケールを確定させるには、MIDI CTRL α ボタン (10) と β ボタン (11) を同時に押します。この操作を行うとプログラムしたノートが恒久的に変更され、元に戻すことはできません。

USER スケールは、SCALE モードで MIDI CTRL α ボタン (10) を押し続けて設定します。エンコーダー (41)~(52) が点灯し、12 音のスケールを設定できるようになります。

(32) TRANSPOSE ENABLE：外部からのシーケンスのトランスポーズを有効 / 無効にします。
- ・Off(初期値)
- ・MIDI Ch 1~16
- ・Track(各トラックに設定した出力チャンネルでノートを受信すると、そのトラックがトランスポーズされます)
- ・1-4
- ・2-5
- ・3-6
- ・4-7
- ・5-8
- ・6-9
- ・7-10
- ・8-11
- ・9-12
- ・10-13
- ・11-14
- ・12-15
- ・13-16

「1-4」は、トラック 1 が MIDI チャンネル 1、トラック 2 がチャンネル 2(以下同様) のノートでトランスポーズされることを示します。「13-16」の場合は、トラック 1 がチャンネル 13、トラック 2 がチャンネル 14(以下同様) でトランスポーズされます。

(33) TRIGGER ENABLE：指定した MIDI チャンネル (1~16) で受信した MIDI CC(コントロール (34) で選択) でパターンを切り替えるか、この機能をオフにするかを選択します。

(34) TRIGGER CC NR：コントロール (33) でこの機能をオンにした場合に、パターンの切り替えに使用する MIDI CC を選択します。

(35) RATE/QUANT：クオンタイズの単位を設定します。
- ・96：96 分音符
- ・t32：32 分音符の 3 連符
- ・32：32 分音符 (初期値)
- ・t16：16 分音符の 3 連符
- ・16：16 分音符
- ・t8：8 分音符の 3 連符
- ・8：8 分音符
- ・t4：4 分音符の 3 連符
- ・4：4 分音符
- ・t2：2 分音符の 3 連符
- ・2：2 分音符
- ・t1b：1 拍の 3 連符
- ・1b：1 拍
- ・t2b：2 拍の 3 連符
- ・2b：2 拍
- ・4b：4 拍

(36) OFFSET/Q-MIXER：クオンタイズのオン (初期値)/ オフを切り替えます。

(37)~(40) TRACKMODE T1-T4：4 つのトラックそれぞれのトラックモードを、Chord または Drum に設定します。ドラムトラックの仕組みについては、前述の「ZAQ ドラムトラック」を参照してください。

(41)、(43)、(45)、(47) MIDI OUT AB TRACKS 1-4：各トラックが使用する MIDI 出力を選択します。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

・USB
・Input channel(入力チャンネル)
・MIDI A
・MIDI B
・MIDI A & B
・USB & MIDI A
・USB & MIDI B
・USB
・MIDI A & MIDI B

◊ すべての選択肢は、グローバル設定メニューのボタン (7)(Note Mute) で MIXED を選択した場合にのみ使用できます。

(42)、(44)、(46)、(48) MIDI CHANNEL TRACKS 1-4：各トラックが使用する MIDI チャンネル (1~16) を設定します。

(49)、(51)、(53)、(55) MIDI CONTROL α TRACKS 1-4：各トラックのαコントロールを設定します。
・off(初期値)
・delay(ディレイ)
・ratchet(ラチェット)
・program change(プログラムチェンジ)
・aftertouch(アフタータッチ)
・pitch bend(ピッチベンド)
・CC0~27

(50)、(52)、(54)、(56) MIDI CONTROL β TRACKS 1-4：各トラックのβコントロールを設定します。
・off(初期値)
・delay(ディレイ)
・ratchet(ラチェット)
・program change(プログラムチェンジ)
・aftertouch(アフタータッチ)
・pitch bend(ピッチベンド)
・CC0~127

CTRL モード

(5)~(24)：これらのボタンには、下記のリストから任意のコントローラーを割り当てられます。

(25)~(56)：押してオン / オフボタンとして、または回して連続可変コントローラーとして使用できます。

(65)~(68)：これらのボタンには、下記のリストから任意のコントローラーを割り当てられます。

◊ 2 系統のフットスイッチ入力にも、グローバル設定メニューで CTRL に設定されていれば、ボタンや押したエンコーダーと同様にコントローラーを割り当てられます。

(59) EDIT：EDIT ボタンを押しながら、エンコーダーを回すか押す、または別のボタン ((5)~(24)、(65)~(68)) を押して、機能を割り当てます。

(60) EXIT：EDIT、STORE、LOAD の各モードを終了します。

(61) STORE：< ボタンと > ボタン ((63)、(64)) と組み合わせて、コントローラー設定の保存先を選択します。STORE をもう一度押すと保存先が確定し、3 回目に押すと書き込まれます。これは一時保存のため、電源を切ると失われます。恒久的に保存するには、SELECT エンコーダー (58) を押したまま STORE を押します。

保存済みのプリセットを読み込むには、ボタン (63) と (64) でその保存位置に移動します。自動的に読み込まれます。

(62) LEARN：LEARN モードを使うと、外部の MIDI ソースからコントローラーをプログラムすることもできます。LEARN ボタン (62) を押したまま、ボタンを押すかエンコーダーを回します。その後、受信した MIDI(DIN または USB) で、選択したボタンやエンコーダーをプログラムできます。パラメーターは、GLOBAL/EDIT(59) を押したまま目的のボタンやエンコーダーを選択すれば、引き続き編集できます。

エンコーダーやボタンにコントローラーを割り当てるには、EDIT ボタンを押しながらエンコーダーを回すか、プログラムしたいボタンを押します。続いて SELECT エンコーダー (58) で、次の選択肢から選びます。
・Off
・PC
・CC
・NRPN
・PB(エンコーダーのみ)
・Note(ボタンのみ)
・AT
・GS
・MMC(ボタンのみ)

コントローラーの種類を選択したら、< ボタンと > ボタン ((63)、(64)) で設定項目を移動し、SELECT エンコーダー (58) で各値を設定します。

EXIT(60) を押すと、CTRL モードに戻ります。

消去

Controller のメモリーを消去するには、次の手順に従います。STORE ボタン (61) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま、25 番目のエンコーダー (50) を押します。すべてのメモリーを消去するには、8 番目のエンコーダー (32) を押し、もう一度

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

押して確定します。いずれの場合も、EXIT(60) を押すと通常の動作に戻ります。

SysEx

Zaquencer からエクスポートするには、まずボタン (1) で ZAQ モードを選択します。STORE ボタン (61) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま、1 番目のエンコーダー (25) を押します。次の操作を選択できます。

・Zaquencer の全メモリーをエクスポート：5 番目のエンコーダー (29) を押します。

・12 のシーケンスページをエクスポート：6 番目のエンコーダー (30) を押します。

・現在のシーケンスページをエクスポート：7 番目のエンコーダー (31) を押します。

・現在のシーケンスのみをエクスポート：8 番目のエンコーダー (32) を押します。

Controller からエクスポートするには、まずボタン (1) で CTRL モードを選択します。STORE ボタン (61) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま、1 番目のエンコーダー (25) を押します。次の操作を選択できます。

・全 64 プリセットをエクスポート：7 番目のエンコーダー (31) を押します。

・現在のプリセットをエクスポート：8 番目のエンコーダー (32) を押します。

インポートするには、どちらのモードでも、STORE ボタン (61) を押し、SELECT エンコーダー (58) を押したまま、9 番目のエンコーダー (33) を押します。BCR32 がインポートモードになり、受信した SysEx メッセージを正しい保存位置に保存します。

CV キャリブレーション

BCR32 は工場出荷時に校正済みのため、通常は再校正の必要はありません。再校正が必要になった場合は、次の手順に従ってください。

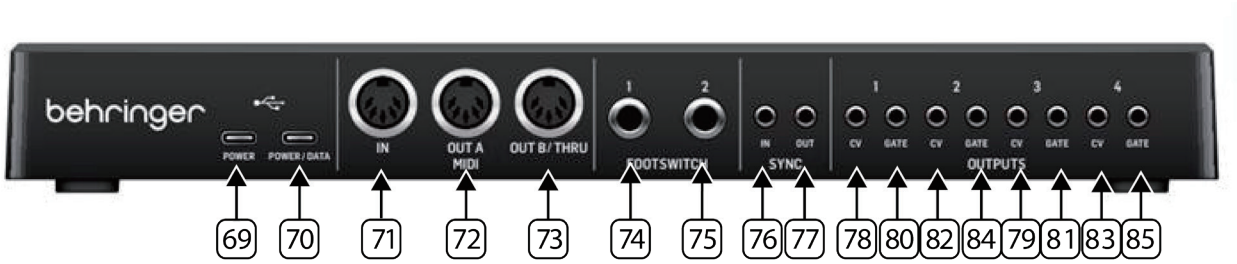
1. ZAQ/CTRL ボタン (1) を、このボタンとボタン (5)~(12) が青く点灯するまで長押しします。
2. ボタン (8)(Note Delay) を押します。ディスプレイに MIN と表示されます。
3. CV 1 出力に電圧計を接続します。ミリボルト単位で測定できる電圧計を使用してください。
4. 1 番目のエンコーダー (25) を回します。ボタン (5)~(14) がアンバーに点灯し、数値入力パッドとして機能します。ボタン (15) は緑に点灯し、入力値をプラスにします。ボタン (16) は赤に点灯し、入力値をマイナスにします。ボタン (19) は青に点灯し、値をクリアします。ボタン (20) はピンクに点灯し、バックスペースとして機能します。
5. 9 番目のエンコーダー (33) を回します。
6. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
7. 17 番目のエンコーダー (41) を回します。
8. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
9. 1 番目のエンコーダー (25) を押します。
10. 1 番目のエンコーダーを反時計回りに回します。電圧計の表示が 0V になることを確認します。
11. エンコーダーを時計回りに回します。電圧計の表示が +10V になることを確認します。
12. CV 2 出力に電圧計を接続します。
13. 2 番目のエンコーダー (26) を回します。ボタン (5)~(14) がアンバーに点灯し、数値入力パッドとして機能します。ボタン (15) は緑に点灯し、入力値をプラスにします。ボタン (16) は赤に点灯し、入力値をマイナスにします。ボタン (19) は青に点灯し、値をクリアします。ボタン (20) はピンクに点灯し、バックスペースとして機能します。
14. 10 番目のエンコーダー (34) を回します。
15. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
16. 18 番目のエンコーダー (42) を回します。
17. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
18. 2 番目のエンコーダー (26) を押します。
19. 2 番目のエンコーダーを反時計回りに回します。電圧計の表示が 0V になることを確認します。
20. エンコーダーを時計回りに回します。電圧計の表示が +10V になることを確認します。
21. CV 3 出力に電圧計を接続します。
22. 3 番目のエンコーダー (27) を回します。ボタン (5)~(14) がアンバーに点灯し、数値入力パッドとして機能します。ボタン (15) は緑に点灯し、入力値をプラスにします。ボタン (16) は赤に点灯し、入力値をマイナスにします。ボタン (19) は青に点灯し、値をクリアします。ボタン (20) はピンクに点灯し、バックスペースとして機能します。
23. 11 番目のエンコーダー (35) を回します。
24. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
25. 19 番目のエンコーダー (43) を回します。
26. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
27. 3 番目のエンコーダー (27) を押します。
28. 3 番目のエンコーダーを反時計回りに回します。電圧計の表示が 0V になることを確認します。
29. エンコーダーを時計回りに回します。電圧計の表示が +10V になることを確認します。
30. CV 4 出力に電圧計を接続します。
31. 4 番目のエンコーダー (28) を回します。ボタン (5)~(14) がアンバーに点灯し、数値入力パッドとして機能します。ボタン (15) は緑に点灯し、入力値をプラスにします。ボタン (16) は赤に点灯し、入力値をマイナスにします。ボタン (19) は青に点灯し、値をクリアします。ボタン (20) はピンクに点灯し、バックスペースとして機能します。
32. 12 番目のエンコーダー (36) を回します。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

33. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
34. 20 番目のエンコーダー (44) を回します。
35. 数値入力パッドのボタンで、電圧計の測定値を入力します。
36. 4 番目のエンコーダー (28) を押します。
37. 4 番目のエンコーダーを反時計回りに回します。電圧計の表示が 0V になることを確認します。
38. エンコーダーを時計回りに回します。電圧計の表示が +10V になることを確認します。
39. ZAQ/CTRL ボタンを押して校正を終了し、通常の動作に戻ります。

Control Tribe

本書で説明している機能の多くは、ホームページからダウンロードできる Control Tribe アプリでも操作できます。また、新しいファームウェアが公開された際のアップデートにも、このアプリを使用します。



2. リアパネル

(69) USB POWER：USB-C 端子です。適切な USB 電源を接続して、BCR32 に電源を供給します。データの送受信は行えません。

(70) USB POWER/DATA：USB-C 端子です。コンピューターなどの適切な機器とデータを送受信しながら、BCR32 に電源を供給します。

(71) MIDI IN：5 ピン DIN 端子です。外部機器からの MIDI メッセージとクロックデータを、BCR32 で受信します。

(72) MIDI OUT A：5 ピン DIN 端子です。外部 MIDI 機器に MIDI メッセージとクロックデータを送信します。

(73) MIDI OUT B/THRU：5 ピン DIN 端子です。2 系統目の MIDI OUT として、または MIDI THRU として使用できます。MIDI THRU に設定した場合は、MIDI IN 端子と USB 端子で受信した MIDI メッセージをそのまま出力します。

(74)、(75) FOOTSWITCH INPUTS 1 & 2：6.35mm(1/4 インチ)TS フォーン端子です。適切なフットスイッチを接続して、割り当て可能な機能を操作します。

(76) SYNC IN：3.5mm TRS ジャックです。BCR32 を外部のアナログクロックソースに同期させます。リングではスタート / ストップ信号も受け付けます。

(77) SYNC OUT：3.5mm TRS ジャックです。BCR32 から外部アナログ機器を同期させ、スタート / ストップを制御します。

(78)、(80)、(82)、(84) CV OUTPUTS：4 系統の 3.5mm TS ジャックです。Zaquencer で、1V/ オクターブ方式の外部アナログ機器をコントロールします。

(79)、(81)、(83)、(85) GATE OUTPUTS：4 系統の 3.5mm TS ジャックです。Zaquencer で、外部アナログ機器にゲート信号を送ります。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

モード＆オプション

名称	動作
ボタンモード	
Tog On	ボタンを押すと最大値を送信し、もう一度押すと最小値を送信します。
Tog Off	モーメンタリースイッチとして動作します。押している間は最大値を送信し、離すと最小値を送信します。
Inc	押すたびに、送信する値が最小値から最大値まで段階的に増加します
エンコーダーモード	
Absolute	7 ビットの絶対値を送信します。
ABS_14	14 ビットの絶対値を送信し、より細かなコントロールが可能です。
REL1	反時計回りに回すと最小値、時計回りに回すと最大値を送信します。
REL2	反時計回りに回すと値 63、時計回りに回すと値 65 を送信します。
REL3	反時計回りに回すと値 1、時計回りに回すと値 65 を送信します。
R1_14	反時計回りに回すと Coarse 0/Fine 1、時計回りに回すと Coarse 127/Fine 127 を送信します (14 ビット)。
R2_14	反時計回りに回すと Coarse 63/Fine 127、時計回りに回すと Coarse 64/Fine 1 を送信します (14 ビット)。
R3_14	反時計回りに回すと Coarse 64/Fine 1、時計回りに回すと Coarse 0/Fine 1 を送信します (14 ビット)。
INC/DEC	INC/DEC時計回りに回すと Increment 1、反時計回りに回すと Decrement 1 を送信します。

エンコーダーオプション

エンコーダーオプション	LED の動作
Off	エンコーダー周囲の LED は消灯したままになります。
1dot_in	エンコーダーの動きに合わせて、LED が 1 つずつ点灯します (初期値)。
1dot_ex	1dot_in と同じですが、値がゼロのときはすべての LED が消灯します。
2dot_in	エンコーダーを動かすと、時計回りか反時計回りかに応じて、点灯中の LED の上または下の LED が点灯してから、元の LED が消灯します。
2dot_ex	2dot_in と同じですが、値がゼロのときはすべての LED が消灯します。
Bar	時計回りに回すと LED が順に点灯したままになり、反時計回りに回すと順に消灯します。
Bar-	Bar と同じですが、値がゼロのときはすべての LED が消灯します。
Sprd	値がゼロのときは中央の LED が点灯し、値が大きくなるにつれて両側の LED が点灯します。
Pan	値がゼロのときは中央の LED が点灯し、値が大きくなるにつれて両側の LED が点灯します。
Qual	最小値ではすべての LED が点灯し、値が大きくなるにつれて両側から消灯していき、最大値では中央の LED のみが点灯します。
Cut	最小値ではすべての LED が点灯し、値が大きくなるにつれて順に消灯します。
Damp	最小値では右端の LED が点灯し、値が大きくなるにつれてほかの LED が順に点灯します。

PC - プログラムコントロール

ボタンセットアップ	オプション	エンコーダーセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16	MIDI Channle	1 - 16
Parameter(bank number)	0 - 127	Parameter(bank number)	0 - 127
Minimum Value	0 - 127	Minimum Value	Off, 0 - 127
Maximum Value	0 - 127	Maximum Value	0 - 127
Mode	Tog Off, Inc	Mode	Absolute
		LED Options	Off, 1 dot_in, 1 dot_ex, 2dot_in, 2dot_ ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp
Desplay	On, Off	Desplay	On, Off

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

CC - コンティニュアスコントローラー

ボタンセットアップ	オプション	エンコーダーセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16	MIDI Channle	1 - 16
Parameter(controller)	0 - 127	Parameter(controller)	0 - 127
Minimum Value	0 - 127	Minimum Value	0 - 127
Maximum Value	0 - 127	Maximum Value	Off, 0 - 127
Mode	Tog On, Tog Off, Inc	Mode	Absolute, A14, REL1, REL2, REL3, R1_14, R2_14, R3_14
Increment Options	-127 - +127	LED Options	Off, 1 dot_in, 1 dot_ex, 2dot_ in, 2dot_ ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp
Desplay	On, Off	Desplay	On, Off

NRPN - 非登録パラメータナンバー

ボタンセットアップ	オプション	エンコーダーセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16	MIDI Channle	1 - 16
Parameter(controller)	0 - 127	Parameter(controller)	0 - 16383
Minimum Value	0 - 127	Minimum Value	0 - 16383
Maximum Value	0 - 127	Maximum Value	0 - 16383
Mode	Tog On, Tog Off, Inc	Mode	Absolute, A14, REL1, REL2, REL3, R1_14, R2_14, R3_14, INC/DEC
Increment Options	-127 - +127	LED Options	Off, 1 dot_in, 1 dot_ex, 2dot_ in, 2dot_ ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp
Desplay	On, Off	Desplay	On, Off

ノート

ボタンセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16
Parameter(controller)	0 - 127
Value	0 - 127
Mode	Tog On, Tog Off, Inc
Display	On, Off

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

ピッチベンド

ボタンセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16
Parameter(controller)	0 - 127
Value	0 - 127
Mode	Absolute
LED Options	Off, 1dot_in, 1dot_ex, 2dot_in, 2dot_ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp
Display	On, Off

AT - アフタータッチ

ボタンセットアップ	オプション	エンコーダーセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16	MIDI Channle	1 - 16
Parameter(controller)	All, 0 - 127	Parameter(controller)	0 - 16383
Minimum Value	0 - 127	Minimum Value	0 - 16383
Maximum Value	0 - 127	Maximum Value	0 - 16383
		Mode	Absolute
Increment Options	-127 - +127 (Default = 1)	LED Options	Off, 1dot_in, 1dot_ex, 2dot_in, 2dot_ ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp.
Desplay	On, Off	Desplay	On, Off

GS - 最も使われるパラメーター

ボタンセットアップ	オプション	エンコーダーセットアップ	オプション
MIDI Channel	1 - 16	MIDI Channle	1 - 16
Parameter	Cutoff, Resonance, Rate, Depth, Delay, Attack. Decay, Release, Modulation, Portamento, Volume, Pan, Reverb, CRS, VAR.	Parameter(controller)	Cutoff, Resonance, Rate, Depth, Delay, Attack. Decay, Release, Modulation, Portamento, Volume, Pan, Reverb, CRS, VAR.
Minimum Value	0 - 127	Minimum Value	0 - 127
Maximum Value	0 - 127	Maximum Value	0 - 127
Mode	Tog On, Tog Off	Mode	Absolute, A 14, REL1, REL2, REL3, R1_14, R2_14, R3_14, INC/DEC.
		LED Options	Off, 1dot_in, 1dot_ex, 2dot_in, 2dot_ex, Bar, Bar-, SPRD, Pan, Qual, Cut, Damp.
Desplay	On, Off	Desplay	On, Off

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.

MMC - MIDI マシンコード

ボタンセットアップ	オプション
MIDI Device ID	0 - 126, All
Parameter	Play, Pause, Stop, Forward, Rewind, Location, In, Out,
Start Position Locate (HH:MM)	0 - 127, Off
Start Position Locate (SS:FF)	0 - 127, Off
Mode	Off, 24, 25, 30, 30d (frames per second)
Display	On, Off

Behringer 総輸入販売元
ヒビノエレクトリ株式会社
〒 105-0022
東京都港区海岸 2-7-70
HP:https://www.electori.co.jp/

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

©2026 HIBINO ELECTORI CO,.LTD.